

# 教区・別院・各寺の行事紹介 \*届け出寺院のみ掲載

寺院	法座名	日 時	法 話 者
浄教寺(東阿閉)	彼岸会	3月21日(火) 17時	住職
了覚寺(熊野)	お彼岸法要	3月21日(火) 16時	
教覚寺(重則)	相続講	4月16日(日) 9時30分	円行寺住職
圓行寺(西柳野)	永代経	3月5日(日) 9時30分・13時	竹中慈祥氏
妙覚寺(東柳野)	彼岸会	3月21日(火) 16時	住職
双林寺(西物部)	永代経	3月4日(土) 10時	住職
猶存寺(布施)	永代経	4月2日(日) 10時	住職
圓常寺(千田)	永代経	3月12日(日) 10時 13時30分 落語 満腹亭いち福・萬福	森 眞一氏
来入寺(千田)	永代経	4月16日(日) 10時	西野健太郎氏
明德寺(黒田)	永代経	3月11日(土) 10時	前住職
誓海寺(大音)	永代経	3月5日(日) 10時	鈴木君代氏
	彼岸会	3月21日(火) 13時	住職

## 五村別院「五日会連続講座」

日時 3月6日(月) 午後2時～4時

講師 よつじ 四衢 あきら 亮氏(岐阜高山教区 不遠寺住職) 聴講料 500円

講題 「立教開宗—現代を生きる私の課題」

会場 五村別院本堂

## 「しんらん講座」

日時 3月14日(火) 13時30分～16時

講師 訓覇 浩氏(三重教区 金蔵寺住職)

会場 長浜別院本堂 参加費 500円

## びっくい仰天講座

日時 3月4日(土) 午後7時

会所 来入寺(木之本町千田)

講師 難波教行氏(教学研究所研究員)

テーマ 「ニンゲン ワスレテ イマセンカ」 With コロナの時代に築く人間関係  
元々の仏教語の「人間」は「人々の間」という意味合いで、つまりは「人が住んでいる所」を表す言葉でした。ですから「世の中」「世間」を意味したそうです。

コロナの影響で急激に変化した世の中で、これからどういう人間関係を築いていったらいいのでしょうか。仏様の前で世間話を通じて考えたいと思います。お誘い合わせてご参加くださるようご案内申し上げます。

## 組寺族協議会

寺族協議会は、各寺の住職、坊守並びに若院さんなどが集まって、お寺の情報交換をし、それぞれの課題や問題を話し合う大切な協議の場です。下記にて開催しますのでご参集ください。

記

日時 3月25日(土) 19時30分  
会場 教覚寺(高月町重則)

真宗大谷派 長浜教区 3・4月号

# 第24 広報

発行日  
2023年3月1日  
第212号  
発行責任者  
組長 高橋 宗明

## 長浜教区の役職者選出される

去る1月17日に臨時教区会が開かれ、下記役職者が選出されました。(敬称略)

役 職	氏 名	所 属 組	寺 院
教区会議長	曾我 謙成	第12組	等倫寺(米原市一色)
教区会副議長	藤谷 秀樹	第22組	慈栄寺(長浜市下八木町)
教区会参事会員	福井 恵	第13組	見瑞寺(米原市大野木)
	蜂屋 良生	第16組	徳満寺(長浜市八幡中山町)
	千田 洋文	第17組	念相寺(長浜市草野町)
	北辺 禎雄	第19組	西教寺(長浜市大寺)
	山田 孝夫	第21組	禮信寺(長浜市上山田)
	高橋 宗明	第24組	猶存寺(高月町布施)
高岡 淳	敦賀組	唯願寺(敦賀市津内町)	
教区会参事会第1補充員	松見 文雄	第20組	長善寺(長浜市曾根町)
教区会参事会第2補充員	東谷 智	第14組	福泉寺(長浜市七条町)

## おてらであそぼ みんなであそぼ十二してあそぶ?

第3回・ハスワーク 一紙でハスの花を作ろう

日時: 3/25(土) 9:30~11:00

会所: 圓行寺(高月町西柳野) 主催 組青少年部

申し込み: 開催日の1週間前までにお手次のお寺へ申し込んでください。

問い合わせ: 青少年部会長 藤(妙覚寺・0749-85-2697)

○申し込みがなくても、参加できます。

○参加の際は自宅での検温と、マスクの着用をお願いします。

参加費: 無料

持 ち 物: ねんじゅ・お勤めの本(赤本)・水筒・ハンカチ・ティッシュ

参加者大募集



真宗大谷派 長浜教区第24組 ホームページ  
<http://nagahamakyoku24.main.jp>

## 「彼岸会」の意味

東本願寺出版「真宗の仏事」より



お彼岸といえば、お寺参りやお墓参りで、墓地はいつせいに仏花で彩られます。先だっていかれた人を訪う季節なのでしょう。「訪う」という言葉は、古くは「弔う」「供養する」という意味を含んでいました。ですから、私たちにとっては彼岸は先だっていかれた人とのどこか懐かしい日々が思いおこされるひとときです。

もともと「彼岸」とは仏教の原語で「パーラミタ」、訳して「到彼岸」といいます。季節をあらわす名ではありません。生死の迷いの世界があるこの世の此岸に対し、その此岸を超えたさとりの世界を彼岸とあらわしています。

すなわち、此の岸（私たちの世界）から彼の岸（仏様の世界・浄土）にわたるといふことであると教えられます。また、春分と秋分の日を中日として、前後3日の7日間を彼岸と呼ぶのは、この期間に彼岸会として法要が勤められたことからきているといわれています。

法会としての彼岸会は、歴史書「日本後紀」に、806（大同元）年に諸国の国分寺の僧によってつとめられたとあり、平安時代の初期からはじまった日本独自の仏事だといわれています。

なぜこの法会が、夜と昼の時間が等しい時節につとめられ、彼岸会と称されたかについては次のような説があります。「仏説観無量寿経」において、いかにして浄土を観るのかということについて、「当に心を専らにして、念を一処に懸けて、西方を想うべし（中略）日没を見よ」と、いわゆる「日想観」が説かれています。この「日想観」について七高僧のお1人である善導大師が、「冬夏の良時を取らず、唯春秋の二際を取る。その日正東より出でて、直西に没す。弥陀仏国は、日没の処に当りて、直西に十萬億の刹を超過する、即ち是なり」といわれています。日想観を修するにあたっては春秋の太陽が真東から真西に没していく、その時の太陽のすがたを見ることによって浄土を想う、このことが春秋の彼岸会の由来とされています。

亡き人を偲ぶとともに、亡き人のおられる世界（浄土）を聞き開くための、大切な「仏法聴聞週間」とでもいふべきものが「お彼岸」です。煩惱で汚れ切ったこの時代に生きる私たちは、少なくともこのお彼岸の時期に、仏法聴聞に励んで、いよいよ「お浄土」への道を明らかにし歩ませていただくことが大切です。私たちにとって本当に依りどころとなるものは何なのかということ、この彼岸会から学びたいものです。

彼岸中のお内仏には打敷をかけ、お華束を備え、お花も季節ものを花瓶に挿してください。

### 真宗講座

日時 4月2日（日）午後2時  
会場 木之本スティックホール  
講師 黒田進氏（満立寺前住職）  
テーマ 「真宗門徒のよろこび」  
趣旨 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要にあわせて、聖人がよろこばれたお念仏の教えについて、学ぶ機縁といたします。

### 組門徒会 自主研修会

日時 3月11日（土）午後2時～  
会場 樹徳寺（木之本町田居）  
講師 永井貴宗氏  
（長浜教区駐在教導）  
テーマ 「共に創るお寺の形」  
対象 各寺組門徒会員並びに住職  
\*できるだけ乗合で来ていただければありがたいです。

## 長浜別院（大通寺）の由来

（取材・広報部）

戦国時代のはじめ、蓮如上人のご教化によって湖北地方は「真宗王国」と呼ばれるほどまでになりました。その信仰の中心道場が「長浜の御坊さん」とよばれ親しまれてきたのが「大通寺」です。

天正時代の初め頃、湖北三郡（現米原市・長浜市）の僧俗が、織田信長と戦う大坂の石山本願寺支援の協議を行うため、長浜の町なかに寄合道場を設置したのが大通寺の濫觴といわれています。

天正8年（1580）3月、時の本願寺法主顕如上人と、信長の間には和睦が成立しますが、法主の嫡男の教如上人は、徹底抗戦を主張して諸国に檄を発しました。教如上人への帰依親昵の情の深かった湖北の門徒は、これに応じ、教如上人とともに戦いました。

慶長7年（1602）教如上人は、徳川家康より本願寺分立の許可を得て、大谷派本願寺（東本願寺）を興されました。

これにともない長浜城の旧地に移っていた当寺は、道場から、無礙智山大通寺と号する寺院として新たに発足することになりました。しかし、慶長11年、内藤信成が長浜に移封され、城地が修築されることになったため、寺地を現在の地に移し伽藍をかまえることになりました。

大通寺発足当初は、本山より僧が派遣され、三郡の有力末寺が輪番に出仕勤行していましたが、湖北教団の重要性をおもじした大谷派本願寺第13世の宣如上人により、寛永16年（1639）三男靈瑞院宣澄殿が住職として入寺されることになりました。これを契機に当寺は、彦根藩主井伊直孝の援助を得て寺域の拡大をはかるとともに、本山から広間を譲り受け、寺観の整備をはかりました。

ここに、当大通寺は、真宗大谷派の別格別院として、7000坪の境内で、名実共に当地方における信仰とその伝道との要として重きをなし、今日に至っています。

本堂・阿弥陀堂は、江戸初期に建立されたものです。もと伏見城の殿舎であったものが、大谷派本願寺が分立した際、御影堂として移され、その御影堂を承応年間（1652～1654）に当寺に移して本堂としました。今は国の重要文化財に指定されています。大広間も国の重要文化財で、本堂と同様に、もと伏見城の遺構で、桃山時風御殿の豪華な趣をよく伝えています。その他にも重要文化財は、円山応挙筆の蘭亭曲水宴図がえがかれている「蘭亭」や、狩野山楽筆の山水画が描かれている含山軒、それに、宝暦10年（1760）に建てられた玄関があります。また県の指定を受けている南北朝時代の「梵鐘」、長浜市の指定を受けている山門・書院・脇門など貴重な建物などがいっぱいあります。主な仏事として「夏中」「報恩講」等が勤まります。是非御参詣ください。

### 【納骨のご案内】

長浜別院大通寺 0749-62-0054

\*一般納骨 毎月第1日曜日・13日・28日 午前10時45分受付 11時始経

\*希望の日時をお電話にてご相談ください。

\*申込用紙に必要事項をご記入の上、1週間前までに納骨志（故人お1人につき7万円以上）を添えてお申込ください。

\*当日は、10分前には本堂へお越しください。納骨されたご遺骨はお返しできません。

### 24 組合唱団「山河サンガ」結成5周年記念演奏会

～仏教讃歌をあなたに～

日時 6月4日（日）午後1時30分開演

会場 木之本スティックホール

\*詳細については次号でご案内します。